

書

株式会社鉄道木下組火災整理ニ関シ会社対船主間ニ左記ノ通函湯田定成三ノ書
ニ書シ三通ヲ送付シ向者各一通ヲ送付スル事トス

一整理人員八名トス

二解雇下船者ニ対シ一人ニ付平当金八十圓及重役ヨリ金支給(内容十月宛)支給
ノ事トス

三財米委商情勢為悪化上整理増加ノコトナキニ至リタル場合ハ因時減額ヲ
以テ便宜トス

右書如件

鉄道木下組代表者 木下冬市

船主代表

石原 宣吉

口井達助(船主代表)

火越 隆夫

昭和六年四月二十七日付郵

59
1896

昭和六年五月六日

警視總監 高橋 守雄

内務大臣 安達 謙藏

社会局長 吉田 茂

各廳 府 縣 官 署

八八廳 府 縣

東京電氣労働組合電力支部ノ歩合削減等及好運動ニ関スル件

(第二紙)

三月廿八日東京員大會ノ第廿七号(出席者七名)議案十二件及緊急動議
三件之可決シ次イテ東京外埠以下六名ノ候補承認アリ(中止三件)ニ散會

要旨 四月三十日組合代表八名各ニ労働部長ヲ訪問 増歩撤廃ヲ從前通りニセラ
レ度シ以下十二項ノ要求書ヲ提出ス

四月廿八日午後十時ニシテ以テ注意中